

松岡 みゆき (Miyuki MATSUOKA)

学位：博士（文学）

略歴：神田外語大学大学院言語科学研究科博士前期課程修了

名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士後期課程満期退学

専門分野：言語学、日本語学、日本語教育

研究課題：日本語の単音節語研究（感動詞、終助詞）

【感動詞研究】

◆論文

1. 「単音節語『さ』と『あ』の対立性について」（愛知文教大学国際文化学会『愛知文教大学比較文化研究』第16号、2021年2月）
2. 「単音節語『あ』における長音化の働きについて」（愛知文教大学『愛知文教大学論叢』第23巻、2021年2月）
3. 「単音節語『あ』に内在する直観的判断と分析的判断について」（表現学会『表現研究』第109号、2019年4月）
4. 「『あ』の中核的意味とその外延的事象について」（名古屋大学国際言語センター『名古屋大学日本語・日本文化論集』第25号、2018年3月）

◆研究発表

1. 「発語『さあ』の意味とその使用がコミュニケーションに与える影響について」（関西言語学会第47回大会研究発表、2022年6月）
2. 「長音化した単音節語『まあ』に内在する意味について」（日本語文法学会第22回大会研究発表、2021年12月）
3. 「対象化された判断と反射的判断-単音節語『さ』と『あ』の対立点-」（現代日本語学研究会第188回研究発表、2021年7月）
4. 「単音節語『あ』の長音化形態が担う機能について」（日本語文法学会第20回大会研究発表、2019年12月）

【終助詞研究】

◆論文

1. 「終助詞『な』の用法について」（愛知文教大学国際文化学会『愛知文教大学比較文化研究』第12号、2012年11月）
2. 「終助詞『な』が表す感情表出機能の実体」（名古屋大学留学生センター『名古屋大学日本語・日本文化論集』第19号、2012年3月）（論説資料保存会、独立行政法人国立国語研究所監修『日本語学論説資料第2分冊増刊（文法）』第50号、2015年9月）

3. 「汎性語の終助詞「わ」の意味について」(名古屋大学留学生センター『名古屋大学日本語・日本文化論集』第18号、2011年3月)
4. 「三重県津市の方言終助詞『ニ』—共通語の終助詞『よ』との意味の対応について—」(名古屋大学留学生センター『名古屋大学日本語・日本文化論集』第16号、2009年3月)
5. 「疑問文における終助詞『よ』『ね』と複合終助詞『よね』の働きについて」(名古屋大学留学生センター『名古屋大学日本語・日本文化論集』第15号、2008年3月)
6. 「終助詞『よ』を伴う平叙文の機能」(おうふう、刊行委員会編『ことばの論文集—安達隆一先生古稀記念論文集—』、2007年12月)
7. 「現代日本語の終助詞『よ』『ね』『よね』—意味論と語用論の接点を求めて—」(学位論文)(名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻博士後期課程、2007年10月)
8. 「現場性を持つ情報、持たない情報—終助詞『よ』と『ね』が示すもの—」(表現学会『表現研究』第83号、2006年3月)
9. 「談話標識ネが示すもの—情報源と時系列的共有談話領域との関係から—」(関西言語学会『KLS』第25号、2005年6月)
10. 「談話場における終助詞ヨの機能」(名古屋大学大学院国際言語文化研究科『言葉と文化』第4号、2003年3月)(論説資料保存会、独立行政法人国立国語研究所監修『日本語学論説資料第5分冊(コミュニケーション)』第42号、2007年10月)
11. 「終助詞『ね』の各機能とその関係性」(白馬夏季言語学会『白馬夏季言語学会論文集』第12号、2001年7月)
12. 「終助詞『ね』の担う検索機能」(名古屋学院大学留学生別科(日本研究プログラム)『名古屋学院大学日本語学・日本語教育論集』第7号、2000年12月)

◆研究発表

1. 「終助詞『な』の用法について」(現代日本語学研究会第133回研究発表、2012年6月)
2. 「階層的モダリティに準じた複合終助詞構成素の時系列的配列」(日本語文法学会第9回大会研究発表、2008年10月)
3. 「談話標識ネが示すもの—情報源と時系列的共有談話領域との関係から—」(関西言語学会第29回大会研究発表、2004年10月)
4. 「事態認識のあり方と終助詞ネ」(現代日本語学研究会第92回研究発表、2004年5月)
5. 「情報源の在処を特定する終助詞—ヨの分布とその機能—」(横浜「言語と人間」11月例会研究発表、2002年11月)
6. 終助詞「ね」の機能(KLC(京都言語コロシウム)例会発表、2001年3月)
7. 終助詞「よ」—談話場に対する話し手の認識形成のあり方から—(現代日本語学研究会第91回研究発表、2002年12月)
8. 「終助詞ネの担う検索機能」(現代日本語学研究会第72回研究発表、2000年9月)
9. 「終助詞『ね』の担う検索機能」(白馬夏季言語学会第32回大会研究発表、2000年8月)

【日本語教育】

◆論文

1. 「国語教育における読む力の育成 ― 書き手の感情を読み取る際の外国籍学生が抱える問題点と指導の要点 ―」（愛知文教大学教職課程研究センター『愛知文教大学教育研究』第4号、2013年6月）
2. 「学習者の日本語文末表現の使用について」（愛知文教大学国際文化学会『愛知文教大学比較文化研究』第11号、2011年11月）
3. 「教科学習のための日本語指導―中学校英語教科書に用いられている設問／指示表現―」（三重県人権問題研究所、森由紀編『多文化を生きる子どもたち2000』、2001年7月）

【講演・公開講座・その他】

1. 「異文化理解と外国人に対する『やさしい日本語』について」（愛知文教大学公開講座、2017年9月）
2. 「外国人にとってわかりにくい日本語・社会のルール、そして防災～外国人の方に寄り添うために～：日本人の目から見た外国人にとってわかりにくい日本語」（平成28年度小牧市市民講座（前期）大学連携講座第2回講座、2016年10月）
3. 「言葉と音の人文学入門：基本の『感情』表現」（愛知文教大学公開講座、2016年9月）
4. 「はとがとをとに」（愛知文教大学公開講座、2015年度統一テーマ「基本の話」、2015年9月）
5. 「日本語の教科書をのぞいてみよう」（小牧市市民講座、2014年7月）
6. 社団法人日本語教育学会2012年日本語教育国際研究大会運営協力員（委嘱期間：2011年12月1日～2012年8月31日）